



日本シティズンシップ教育フォーラム

2021 年度 事業報告書

(2021.01.01～2021.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 1 丁目 2 番 20 号ハイツアメニティ II-203 号室

mail : info@jcef.jp web : <http://jcef.jp>

目次

1. 2021 年度事業のハイライト	2
2. 2021 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	4
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	11
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	12
(4) その他	12
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2021 年度事業のハイライト

- (1) 「第 8 回シティズンシップ教育ミーティング」をオンライン開催。8 つの分科会を特定期間に集中して提供。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2021」をオンライン開催。日本全国から 202 名の方々が申し込み。報告は 36 本のエントリー。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」はオンラインで 7 回開催。
- (4) 機関誌「J-CEF NEWS」は最終号となる 20 号を発行。
- (5) 「高校生ソーシャルデザインスクール」はオンラインで 4 テーマ開催、高校生メンバーを中心に企画運営が進行。

2. 2021 年度事業実施体制

J-CEF では、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関

として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて3つの部会を設置した上で、事務局にスタッフを配置し、その執行にあたっています。

■役員（五十音順）

【運営委員】

- 代表 古田雄一（大阪国際大学短期大学部准教授）
黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
- 副代表 川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）
古野香織（認定NPO法人カタリバ）
- 委員 大畑方人（ドルトン東京学園中部・高等部教諭／上智大学総合人間科学部非常勤講師）
越智大貴（NPO法人こどもNPOシビックスクール理事）
唐木清志（筑波大学人間系教授）
川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）
北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）
斉藤仁一郎（東海大学課程資格教育センター講師）
土肥潤也（NPO法人わかもののみち）
林 大介（浦和大学社会学部准教授／模擬選挙推進ネットワーク代表）
東 大地（NPO法人Mielka理事）
若槻 健（関西大学文学部教授）

【監事】

- 市川享子（東海大学健康学部講師）
西野偉彦（松下政経塾政経研究所主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

【アドバイザー】

- 岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）
長沼 豊（学習院大学文学部教授）
杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）
中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
水山光春（京都教育大学名誉教授／京都橘大学国際英語学部教授）

〈ネットワーク部会〉

- 中村陽一，斉藤仁一郎，土肥潤也，東大地，古野香織

〈研究推進部会〉

- 川口広美，唐木清志，川中大輔，北山夕華，斉藤仁一郎，古田雄一，古野香織，橋崎頼子（専門委員）

〈若者支援部会〉

○小玉重夫, 越智大貴, 杉浦真理, 土肥潤也, 中村陽一

〈出版企画検討部会〉

○唐木清志, 大畑方人, 岡田泰孝, 川中大輔, 林大介, 古田雄一, 水山光春, 若槻健

〈J-CEF スタディ・スタジオ担当委員〉

齊藤仁一朗, 古野香織, 古田雄一

岡本愛香 (専門委員), 小田切瑞生 (専門委員), 浜田未貴 (専門委員), 別木萌果 (専門委員)

■事務局

事務局/会計責任者 川中大輔

■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第23回	2021年3月29日 19:05~21:00	オンライン	コロナ禍にともなう学生・院生および常勤職にない会員の会費減免措置継続の決定, 2020年度決算案および事業報告案の承認, 2021年度予算案および事業計画案の策定, 通常総会招集の決定

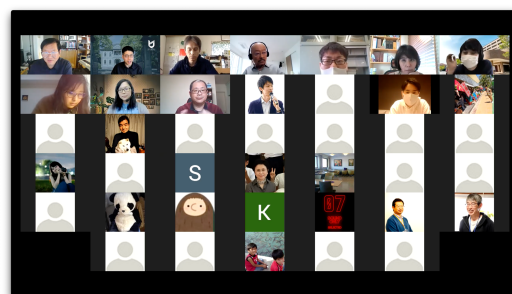
その他, 代表・副代表による特別会議を不定期で開催し, 今後の組織再編に関する検討を進めた。

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第8回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは, シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換, また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として, 「第8回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。今年度もCOVID-19パンデミックの影響を受けて, 全プログラムをオンラインで実施する形となったため, 従来は同時間帯に行っていた分科会を一定期間に分散させて行うこととした。



【開催概要】

- 期間：2020年3月13日(土)～4月27日(火)
- 場所：オンライン
- 企画数：8プログラム
- vol.1「改めて『コロナ禍とシティズンシップ教育』を考える」

・日時：2021年3月13日（土）10時～12時

・登壇者

〈話題提供者〉

黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

杉浦真理さん（立命館宇治高等学校教諭）・藤川瞭さん（立命館宇治高等学校講師）

川口広美さん（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

〈コーディネーター〉

川中大輔（龍谷大学社会学部講師）

●vol.2 「学びの場で起こる『お客さま化』をシティズンシップ教育はどう受け止めるか？」

・日時：2021年3月20日（土）13時30分～15時30分

・登壇者

〈話題提供者〉

高宮知数さん（株式会社ファイブ・ミニッツ代表取締役）

酒井大介さん（高校教員）

〈コメンテーター〉

中村陽一さん（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

〈コーディネーター〉

土肥潤也さん（NPO法人わかものまのまち代表理事）

●vol.3 「主権者教育における高大接続改革を考える」

・日時：2021年3月21日（日）10時30分～12時

・登壇者

〈話題提供者〉

小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

中田奈穂美さん（香蘭女学校教諭）、高校生（香蘭女学校）

福原充さん・大森真穂さん（立教大学立教サービスラーニングセンター教育研究コーディネーター）

〈コーディネーター〉

藤枝聡さん（立教大学国際センター／元立教大学兼任講師）

●vol.4 「いまこそ、学校の中の『民主主義』と『対話』について考えよう」

・日時：2021年3月22日（月）19時～21時

・登壇者

〈話題提供者〉

金杉龍吾さん（高校3年生）

山本晃史さん（認定 NPO 法人カタリバ・文京区青少年プラザ b-lab 副館長）

上田秀磨さん（一橋大学大学院）

〈コメンテーター〉

古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部准教授）

〈コーディネーター〉

古野香織さん（東京学芸大学大学院）

●vol.5 『『日常生活を過ごしながらか市民活動に参加する』ための前提条件を問い直す』

・日時：2021 年 3 月 24 日（水）19 時～21 時

・登壇者

〈話題提供者〉

池谷美衣子さん（東海大学現代教養センター特任講師）

赤川泉美さん（宮城県名取市閑上公民館主事）

岡本祥公子さん（認定 NPO 法人サービスグラント理事）

〈コーディネーター〉

斉藤仁一朗さん（東海大学課程資格センター講師）

●vol.6 「日本の性的同意年齢は 13 歳!?学校で教えてくれない『性的同意』について考えよう」

・日時：2021 年 3 月 26 日（金）14 時～16 時

・対象：高校生

・企画運営：高校生ソーシャルデザインスクール

●vol.7 「デジタル時代のシティズンシップ教育を構想する」

・日時：2021 年 4 月 18 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分

・登壇者

〈話題提供者〉

坂本 旬さん（法政大学キャリアデザイン学部教授）

川口広美さん（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

小栗優貴さん（広島大学大学院教育学研究科）

今井祐介さん・宇ノ木啓太さん・神田楓さん・村田一朗さん（広島大学大学院人間社会学研究科）

〈コーディネーター〉

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

●vol.8 「性教育の伝え方・伝わり方-性教育とシティズンシップ教育とのつながりとは？」

・日時：2021 年 4 月 27 日（火）19 時～21 時

・登壇者

〈話題提供者〉

染矢明日香さん（NPO 法人ピルコン理事長）

高校生ソーシャルデザインスクール参加高校生

小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

〈コーディネーター〉

土肥潤也さん（NPO 法人わかものまちな代表理事）

■「シティズンシップ教育研究大会 2021」を開催

J-CEF では、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2021」を開催しました。

【開催概要】

○日時：2021 年 10 月 3 日（日）10 時～17 時（アフタートーク 18 時まで）

○場所：オンライン

○参加者：202 名（会員 37 名，非会員 165 名）

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼シンポジウム

・テーマ：「『複数性』から問うシティズンシップ教育—日本における実践課題を考える—」

・登壇者：孫美幸さん（文教大学）

寺町晋哉さん（宮崎公立大学）

陳思聡さん（九州大学）

・コーディネーター：北山夕華さん（大阪大学）

橋崎頼子さん（奈良教育大学）

〈シンポジウム実行委員〉（五十音順）

北山夕華さん（大阪大学）

橋崎頼子さん（奈良教育大学）

▼自由研究発表セッション

[第 1-1 分科会]

司会：堀本麻由子さん（東洋大学）

副司会：古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部）

(1)高校生におけるノンフォーマル・エデュケーションでの「シティズンシップ教育」の有用性—#おか

やま JKnote に参画する高校生へのインタビューより―

野村泰介さん（岡山大学大学院）

(2)若者政策は誰の手に？―日欧比較研究が明らかにした日本の若者の社会参画政策の課題―

両角達平さん（国立青少年教育振興機構）

(3)コロナ禍にみるシティズンシップ教育と教育機関ハブ化の可能性―日本とスイスの高校生の自粛生活からの考察―

豊山実聡さん（東京大学教育学部附属中等教育学校）

[第 1-2 分科会]

司会：長沼豊さん（学習院大学）

副司会：黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校）

(1)生徒による民主的な活動実践と協働する社会科単元の開発―教科教育と教科外教育の連携を目指して―

奥村尚さん（独立研究者） 高見史織さん（広島大学大学院）

(2)市民性育成を目指した義務教育段階における「話し合い」の―考察―国語科と社会科に着目して―

長谷浩也さん（岡山大学大学院）

(3)ジャーナリズム教育におけるシティズンシップの可能性―「地方の時代」映像祭・高校生部門の事例から―

小玉明依さん（東京大学大学院）

[第 1-3 分科会]

司会：南浦涼介さん（東京学芸大学）

副司会：岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校）

(1)議論を用いたシティズンシップ教育における課題とその要因―「研究における子ども観」から見る社会科議論型学習を事例に―

田中峻斗さん（広島大学大学院）

(2)議論教育の可能性―多声性を重視したバフチンの対話理論を手がかりに―

久島 玲さん（東京大学大学院）

(3)外国人技能実習生の問題を捉える理論的な枠組み―市民性形成を目指す日本語教育の視点から―

HOANG NGOC BICH TRAN さん（岡山大学大学院）

[第 1-4 分科会]

司会：川口広美さん（広島大学）

副司会：水山光春さん（京都橘大学）

(1)中国における市民性教育実践に関する実証的研究の構想―道徳授業における教師の働きかけに注目

してー

林イク州さん（岡山大学大学院）

(2)主権者教育においてアドボカシーを題材とした授業の提案ークリック・レポートにおける政治リテラシーの育成を目指してー

郡司日奈乃さん（千葉大学大学院）

(3)日本と韓国の小学校社会科における「グローバル・シティズンシップ教育」の取り組みと課題
玄在均さん（筑波大学大学院）

[第 1-5 分科会]

司会：若槻健さん（関西大学）

副司会：市川享子さん（東海大学）

(1)反学校文化はいかなる意味において政治的かーポール・ウィリス『ハマータウンの野郎ども』の読み直しを通じてー

石毛ゆかさん（東京大学大学院）

(2)同僚教師同士のメンタリング方法の提案ー同僚社会科教師へのメンタリングを通してー

山下博暢さん（大阪府立農芸高校・大阪教育大学大学院）

(3)困難校で拒否される傾向にある主権者教育ー何が原因なのか、どうすれば良いのかー

渡部竜也さん(東京学芸大学)

[第 1-6 分科会]

司会：唐木清志さん（筑波大学）

副司会：藤枝聡さん（立教大学）

(1)大学のカリキュラムの国際化ーグローバル・シティズンシップ育成の観点からー

杉野知恵さん（お茶の水女子大学大学院）

(2)ブラジルのアファーマティブ・アクションに関する研究ー教育機会の均等を目指した政策における包摂と排除ー

山脇佳さん（大阪大学大学院）

(3)「市民育成者」育成に関わる大学教員たちの声ー教職大学院科目「社会科の本質と目標・内容構成」に関する聞き取り調査をもとにー

後藤賢次郎さん（山梨大学）

[第 2-1 分科会]

司会：桑原敏典さん（岡山大学）

副司会：林大介さん（浦和大学）

(1)ゲーミフィケーションによるシティズンシップ教育の実践ー地域におけるジブンゴト体感プログラ

ム SIMulation Morioka 2040 による人材育成—

山崎翔さん（ドリーム・シード・プロジェクト）

(2)生徒参加による校則・ルール見直しの活動序盤にみる意義と課題—2021 年度「ルールメイカー育成プロジェクト」の事例から—

起塚拓志さん（認定 NPO 法人カタリバ）、奥村尚さん（独立研究者）、久保園梓さん（筑波大学）、高見史織さん（広島大学大学院）

(3)指導をめぐる児童生徒の認識やその影響—分析的オートエスノグラフィーとインタビュー調査を通して—

藤阪希海さん（大阪大学）

[第 2-2 分科会]

司会：水山光春さん（京都橘大学）

副司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

(1)グローバル・シティズンシップ教育プログラムにおけるリーダーシップ育成の成果と意味に関する研究構想—SGH 校の取組の分析と卒業生に対する調査を中心に—

高雨さん（岡山大学大学院）

(2)グローバル・シティズンシップ教育における「人種」「民族」—「人種化」する／されるを巡って—
東優也さん（海老名市立東柏ヶ谷小学校）

(3) 間文化的シティズンシップを育む日韓合同遠隔授業の成果と課題—民主的文化のための能力の観点から—

森山新さん（お茶の水女子大学）

[第 2-3 分科会]

司会：北山夕華さん（大阪大学）

副司会：川中大輔さん（龍谷大学）

(1)「他者を尊重する」とはいかなる経験か？—子どもたちの「再帰性を放棄する」実践に着目して—
桑田湧也さん（京都大学大学院）

(2)地域社会の教育力の特質と課題に関する事例研究—岡山市内の NPO 法人による子育て支援を事例として—

謝芯怡さん（岡山大学大学院）

(3)社会参加活動を通じた市民としての学び—自主夜間中学におけるスタッフの意識と実践共同体の生成に着目して—

和泉なおこさん（筑波大学大学院）

[第 2-4 分科会]

司会：杉浦真理さん（立命館宇治中学・高等学校）

副司会：古野香織さん（認定 NPO 法人カタリバ）

(1)社会参加学習の意味と効果に関する研究構想—学習者のビリーフ形成に関する調査研究を中心に

史鵬宇さん（岡山大学大学院）

(2)探究を見据えた新科目「公共」のカリキュラム開発—熟議民主主義を活用した授業モデルによって探究の質を高める—

日下秀人さん（神奈川県立向の岡工業高等学校）

(3)自己と他者のジェンダー・ステレオタイプを可視化する中学校地理単元の開発—「寛容性・アンチバイアス教育のためのフレームワーク」を理論的根拠として—

玉井慎也さん（広島大学大学院）

[第 2-5 分科会]

司会：川口広美さん（広島大学）

副司会：小玉重夫さん（東京大学）

(1)イングランドのシティズンシップ教育カリキュラムにおける「アイデンティティと多様性」の認識の変遷—2013 年カリキュラム改訂後に着目して—

松山美華さん（筑波大学大学院）

(2)経験としての「考える力」—ジョルジョ・アガンベンにおける「思考」概念の検討を通して—

寺道亮信さん（東京大学大学院）

(3)世界志向の教育がもたらす政治的空間—ガート・ビースタのアーレント思想の受容を通して—

中野孝太さん（九州大学大学院）

[第 2-6 分科会]

司会：黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校）

副司会：古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部）

(1)我が国の主権者教育実践研究の特質と課題—学校と地域との連携を視点として—

山田凧紗さん（岡山大学大学院）

(2)ESD for 2030 チェンジエージェントのための ESD とシティズンシップ教育—自分の将来と社会の未来を統合的に考え、社会に参画し、デザインする—

長岡素彦さん（一般社団法人 地域連携プラットフォーム）

(3)政治参加への見方の転換をめざす高等学校公民的分野の単元開発—単元「投票は必ずしも良い政治参加といえるのか」の場合—

久保美奈さん（広島大学大学院）、小栗優貴さん（広島大学大学院）

■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に関係する報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を開催しました。

〈Online スタヂオ〉

- ・ vol.6 (1/23) 「子ども・若者のまちづくり参加は、“子ども・若者”と“まち”に何をもたらすのか？」
(話題提供者：土肥潤也さん/NPO 法人 わかものまち代表理事)
- ・ vol.7 (3/6) 「デジタル時代の政治参加と政治教育を考えよう」
(話題提供者：安藤瑛啓さん・今井祐介さん・宇ノ木啓太さん・神田颯さん・藤井結子さん・村田一朗さん・小栗優貴さん/広島大学大学院, 石川照子さん/兵庫県立西宮香風高等学校)
(コメンテーター：古田雄一さん/大阪国際大学短期大学部准教授)
(コーディネーター：河原洗亮さん・両角遼平さん/広島大学大学院)
- ・ vol.8 (3/7) 「高校生が受けた社会科授業」
(ファシリテーター：別木萌果さん/岡山大学大学院, 斉藤仁一朗さん/東海大学課程資格教育センター講師)
- ・ vol.9 (5/29) 「誰も排除しない主権者教育とは？：夜間中学校の社会科での実践」
(話題提供者：夜間中学校の教員)
- ・ vol.10 (7/4) 「マジョリティ問題としてのマイノリティ問題—朝鮮学校の保健室から考える—」
(話題提供者：呉永鎬さん/鳥取大学地域学部准教授)
(コメンテーター：北山夕華さん/大阪大学大学院人間科学研究科准教授)
(コーディネーター：斉藤仁一朗さん/東海大学課程資格教育センター講師)
- ・ vol.11 (9/12) 「18歳選挙権引き下げからの6年を若者と一緒にふり返る」
(話題提供者：藤田星流さん/日本若者協議会, 伊藤真琴さん/学生団体 ivote, 藤原怜央さん/NPO 法人 Mielka, 伊藤和真さん/株式会社 PoliPoli, 野田みどりさん/株式会社 POTETO Media)
(コメンテーター：北山夕華さん/大阪大学大学院人間科学研究科准教授)
(コーディネーター：古野香織/認定 NPO 法人カタリバ, 別木萌果/岡山大学大学院)
- ・ vol.12 (11/21, 12/5) 「SDGs を公害教育史から照射する」
(話題提供者：古里貴士/東海大学教職資格センター准教授)
(コーディネーター：斉藤仁一朗さん/東海大学課程資格教育センター講師)

■ 「高校生ソーシャルデザインスクール」の開催

政治参加や社会参加の実践や探究に取り組んでいる高校生世代の若者がネットワーキングを進めつつ、問題意識を共有し、特定の社会課題について対話を行う「高校生ソーシャルデザインスクール」をスタートさせました。高校生メンバーを中心に学生・院生がサポーターとして企画運営を進めています。

【実施プログラム】

- ・vol.3 (3/26) 「日本の性的同意年齢は 13 歳!?: 学校で教えてくれない「性的同意」について考えよう」(再掲)
- ・vol.4 (6/13) 「校則って本当に必要?: 『高校生らしい身だしなみ』ってなんだろう」
- ・vol.5 (9/26) 「奨学金本音座談会: 奨学金、ぶっちゃけどう思う!?:」
- ・vol.6 (12/26) 「難民問題を考えよう」

〈ワーキングチーム〉(五十音順)

藤原怜央 (大阪経済大学学生)

古野香織 (東京学芸大学大学院)

別木萌果 (岡山大学大学院)

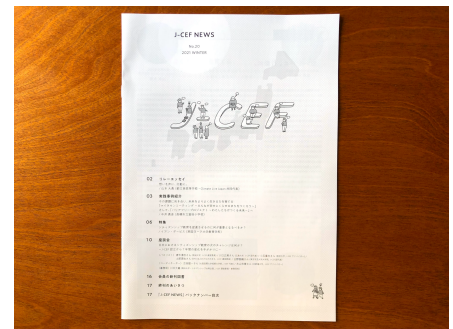
宮嶋凜 (東京大学学生)

高校生メンバー

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ 「J-CEF NEWS」 vol.20 を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。なお、本誌は今号で終刊とすることを決定いたしました。



【第 20 号・概要】

○判型・ページ数: A4 版 20 ページ

○発行部数: 200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「想いを声に、行動に。」

／山本大貴 (都立西高等学校, Climate Live Japan 共同代表)

- ・実践事例紹介「今の課題に向き合い、未来をよりよく生きる力を育てる-『マイタウンミーティング〜みんなが幸せにくらせるまちをつくろう〜』そして、『バリアフリープロジェクト〜わたしたちがつくる未来〜』」

／中井貴彦 (高槻市立富田小学校教諭)

- ・特集「シティズンシップ教育を促進させるのに何が重要となるべきか?」

／イアン・デービス (英国ヨーク大学教育学科教授)

(訳) 水山光春 (京都橘大学国際英語学部教授)

- ・座談会「日本におけるシティズンシップ教育の次のチャレンジは何か? -J-CEF 設立から 7 年間の変化を手がかりに-」

／唐木清志 (筑波大学人間系教授), 川口広美 (広島大学大学院人間社会科学科准教授), 小

玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）、土肥潤也（NPO 法人わかもののみち代表理事）、古野香織（東京学芸大学大学院）、古田雄一（大阪国際大学短期大学部准教授）、水山光春（京都橘大学国際英語学部教授）、川中大輔（龍谷大学社会学部講師、シチズンシップ共育企画代表）

- ・会員の新刊図書紹介
- ・終刊のあいさつ
- ・『J-CEF NEWS』バックナンバー目次

■Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告）を更新継続しています。今年度よりオンライン上でのネットワーキングを強化していくため、Facebook ページに「コミュニティ」を立ち上げました。また、ウェブサイトでは会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。

○URL : <http://jcef.jp>

■新たな出版物に関する企画検討

終刊となった機関誌『J-CEF NEWS』20号について各種特集を企画し、その内容で発刊できたものの、新たな出版物企画については検討を進められず、今後の課題とすることといたしました。

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

■若者の社会発信の機会提供

「シチズンシップ教育ミーティング」や「シチズンシップ教育研究大会」、「高校生ソーシャルデザイン・スクール」などの企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会を提供しました。

(4) その他

COVID-19 パンデミックの影響拡大を受けて、当会では学生・院生の会費を全額免除とし、常勤職にない会員については申請に基づいて全額免除することを決定しました。また、各種企画のオンライン化を積極的に進め、参加費も無料化していくことといたしました。一連の措置については、コロナ禍の広がりや深まりの状況を踏まえながら、次年度以降も継続するかどうかを決定するよういたします。

4. 会計報告

別添資料参照

以上